

いよたか NEWS

vol.4
May 10 2015



●発行:日本ボーイスカウト東京都連盟 日野第2団 ●編集者:中村俊郎 ●住所:東京都日野市程久保4-7-14 ●ホームページ:<http://www.hino2.tokyo/>



新たなスタート!

イースター(古い自分から新しい自分へ)

ディズニーランドで使われるようになって、イースターという言葉が日本でも知られるようになってきたように思います。ディズニー・イースターのポスターなどを見ると、卵やウサギのキャラクターが登場するようですが、イースターとはもともと卵とウサギの春祭りではなくてキリスト教の復活祭のことだということは、教会と関係するスカウトとして皆様にも知っていただきたいと思います。復活祭では、十字架につけられて死んだイエスが、復活して再び弟子たちのもとに来られたことを思い起こします。キリスト教はイエスの復活によって、人の罪に対する神の恵みの勝利、死に対する命の勝利が決定的に与えられたと信じます。

そしてキリスト信者は自分もイエスに導かれて新しい命を生きることができるよう、つまり自分のことだけを考える古い自分から、他の人のことを考え愛することができる新しい自分へと変われるように神の恵みを求めます。このように復活祭のテーマが新しい命であることから、キリスト教文化が根付く地域では、この時期のキャラクターとして、新しい命が生まれてくる卵やたくさん子供を産むウサギが登場するというわけです。高幡教会でも復活祭に飾り付けをした卵が配られました。しかしこうしたキャラクターが独り歩きして、イースターが夜中にウサギが枕元に卵を置きに来る日だけになってしまっは、その意味は大分

浅くなると言わなければなりません。今、ディズニーランドだけではなく、キリスト教会もイースターシーズン(教会では普通日本語で「復活節」と言います。復活祭を祝う季節という意味で復活祭から50日間続きます。)を過ごしています。この時期に、新たなメンバーを加えて始まるサンタルーチェスカウトのそれぞれの活動が、参加する皆にとって古い自分から新しい自分へと導いてくれるものとなりますように。

平成27年4月
カトリック高幡教会
主任司祭 高木健次

カブスカウト・スケートキャンプ

カブ隊では、2月14日から15日にかけて、山梨県富士吉田市でスケートキャンプを行いました。スケートキャンプにはカブスカウトが14名、ボーイ隊からのデンコーチが2名、ローバ隊からスカウト1名、リーダーが8名の計25名が参加しました。今回のスケートキャンプは、初日に富士急ハイランド散策とスケート講習、二日目にスケート講習とフリー滑走を行いました。今回は、スケート初心者が多く不安がありましたが、貸し切り状態のスケートリンクと日体大OGのコーチに教えていただいたおかげで、一般のお客さんと賑わうスケートリンクでも安全に滑ることができるとまで上達しました。

今回のキャンプでは、コーチを始め沢山の方々にご支援いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

(カブ隊 濱崎雄太)



合同ミサ/子供ミサ

聖イグナチオ教会でBP祭・合同ミサ開催

BP祭・合同ミサには日野第2団も45名が参加。平成27年2月11日(祝日)にカトリック麴町イグナチオ教会で約1,000名のスカウトとリーダーが集まり、BP祭・合同ミサが、東京大司教区の幸田司教様の司式で行われました。

高幡教会からは高木神父様をはじめ、ミサ奉仕ではB・S・Gともミサの重要な役割である、侍者、共同祈願、奉納、宗教章の授与と支援を行いました。

奉仕したスカウト達はものすごく緊張していたのが印象的です。例えば、奉納したスカウトは、終わって自分の席に帰ってきたら、大きなため息をついていました。また、共同祈願のスカウトは一生懸命覚えた願い事を、いざその時になったらすっかり忘れてしまいました。

スカウト達にとって、緊張する時間も重要な経験だと思



験だと思

また、JCCS全国総担当司祭には吉祥寺教会の宮崎神父様、東京支部担当司祭には麻布教会の稲川神父様がお引き受けいただきました。



高幡教会では子供のミサが3月8日に開催

日曜学校のリーダーと神父様の企画で、子供たちにも分かりやすい子供ミサを行っていただき、スカウト達も積極的に参加していきたいと思

平和の挨拶では、皆と握手をするゲームのような瞬間であり、皆が本当に一体になったと強く感じられる場面です。侍者として甲野リーダーと宮君がミサ奉仕を行っており、スカウト参加型ミサに感謝です。



活動
かつどうだより
便利

復活祭の主日のミサに参加

例年のように復活祭の主日のミサにB・S・Gが全員参加しました。神父様から「皆が大切にしていることはスカウト達も大切にしようね。友達を大切にしようね。」と復活祭に意味をスカウト達に分かりやすく説明いただきました。

復活祭にはいつも教会の方々が準備してくださる卵をいただきます。

そして復活祭ミサが終了後、マリア様の前で全員で「はい。チーズ」(表紙写真)

JCCSトピックス

- ・23WSJの宗教ブースの運営について、ICCSとWOSMとの調整にJCCSの提案を織り込むべく苦心しながら開始。
- ・第11回JCCSキャンポリーが2016年8月12日(金)～16日(火)に御殿場の国立中央青少年交流の家で開催。

ボーイスカウト・オーバーナイトハイキング

3月21日(土曜日)から22日(日曜日)に日野2BS隊は高尾山口から高幡教会までの21.2kmを夜間踏破した。それでも皆元気一杯です。

21日19:00に高幡教会に集合しテントを設営。その後、多摩動物公園駅から高尾山口に京王線に向う。21:00に高尾山口を班ごとに出発。

ルートは緯度・経度をリーダーが知らされている。地図が読めないと、どこに行ってしまうか分からない。

距離	GP	予想時間	4km/h	緯度	経度
0km	A 高尾山口駅	21:00	21:00 35° 37' 56.0" N	139° 16' 12.1" E	
3.2	B 陸南公園	21:50	21:42 35° 38' 54.1" N	139° 17' 31.5" E	
5.4km	C 南浅川公園	22:20	22:09 35° 39' 41.5" N	139° 18' 31.5" E	
7.5km	D ジョナサン	23:00	22:35 35° 39' 49.5" N	139° 19' 45.1" E	
11.2km	E ひよどり山キャンプ場	23:19 35° 40' 26.6" N	139° 21' 06.6" E		
13.7km	F 長崎ちゃんぼん	23:52 35° 39' 57.9" N	139° 21' 53.7" E		
17.1km	G 善正寺	2:00	0:34 35° 38' 46.0" N	139° 23' 20.6" E	
21.2km	H 高幡教会	3:20	1:24 35° 38' 30.8" N	139° 24' 00.1" E	

全員約6時間をかけて高尾山口から高幡教会までを歩ききった。指導者も裏方でそれぞれのチェックポイントで待機し、スカウトの安全を確認。ルートの警察署にも申請しており見守ってく



スカウト達は朝会うとまったく元気。ほぼ徹夜で歩いた感じではない。一方、写真は無いが指導者は少々お疲れのようだ。ご苦労さまでした。オーバーナイトハイキングは、観察力が身に付く。ペーデンパウエル



は、スカウトの訓練で斥候の話を度々している。それは、暗いところをチェックポイントを通りながら歩くと、普段みる景色と違って見える。良く観察して、歩く必要がありスカウトに観察力、注意力が身に付くと言っている。今回は更に、班ごとに歩くのでチームワークも養われる。また、地図を読む力も付けた。

元気一杯のスカウト達が春になり、またまた成長している。

(文責：鈴木英彦)



ビーバー隊にこだわる

ビーバー隊長 石塚武司

カブ隊の指導者15年以上やっていて思った事。いつもいつも4組体制が出来てなく運営に苦勞する事がある。この前の団委員研修会で稲城1団のボス、天谷さんがこんな事言っていた。「ボーイ隊の指導者をやっていて班編成すままならぬ人数での運営。そのくせに指導者講習会で班編成を組んで運営していくことを教えている。物凄く矛盾を感じる。」痛いですね。こんなで徐々に人数が減っていき、このままで良いの？と思っていて、このままだと2団が潰れるんじゃないか・・とも、感じた。単純ですが問題は「新規の獲得」と「活動の継続者の増加」なんですよね。

「活動の継続者の増加」に関しては、ボーイスカウトが本当の意味で人が居なくなる原因が2種あると思っていて1つ目がカブ隊からボーイ隊に上進するタイミングでの退団者。そこを改善しようと実行したのが榎本団委員長が提案実行した「月の輪隊の編成プログラム」。大成功じゃないですかね。現在の大学3年？4年生？が僕らの団での1期生なのでもう10年間誰かしらがやっているんですね。

2つ目がローパー年代になった時に人が抜ける。折角10年かけて育てたスカウトを手放しに放牧してどうするのか？と、感じてしまう。どこかの隊に所属しながらローパーはやるべき。現在の山崎隊長はその辺わかっていると感じています。100kmハイイクに参加を促しながら、隊の手伝いを。大学生ならば自由があると勘違いしている他の団のスカウトを見ていると思う時がある。自由に活動する権利と、どこかの隊で奉仕する義務・・・権利と義務を感じてローパー隊は動いて欲しい。具体化した義務じゃないけど、ローパーが100kmに挑戦する姿は、他の隊のスカウトに勇気とか気概を見せる。これが重要。そしてその模範が目の前にいるのが現役スカウトの良い刺激になると思っている。これだけで義務を8割終えてる気がする。残りの2割は他の隊の奉仕。これでスカウトに近くに見せることが大きい。こうやって数人のローパーが今、戻ってきた。素晴らしいと思う。この100km参加の初代提案者は榎本団委員長ですけどね。その意思を現在山崎ローパー隊長が継いでいる。

次ネタ。「新規の獲得」。上に書いたのは人が抜けないようにする事。抜けないだけじゃ人は増えません。単純ですよ。あと、何したか・・募集しました。増えました。以上です。この内容は正直に団の秘密と思うぐらい素晴らしいネタと思っている。なので詳しくは書きませんw現在、いろんな人が見れるようになってますからね。その結果が・・・。

4月19日に地区総会がありました。その新規で入ってきている人の数が載って居まして全員で6市のボーイスカウト全部で34名。日野2団はうち12名。3分の1以上。皆様に感謝。皆様の協力あって、許可があって、行動してくれた結果がこのようになっている。僕はきっかけにすぎないと思います。その結果逆に、御迷惑もかけた部分も多々あります。申し訳ありませんでした。元々、口や態度が悪い部分が多分にあります。その部分でもご迷惑かけました。申し訳ありませんでした。もし、優良団の表彰あったら、千葉さん、近藤さん、徳永さん、大山さん、中村さん、杉浦さん、会計4人組のお姉さま、広報イヤサカチームのお姉さまに表彰をお願いします。それと、加藤さん、岸さん、熊田さん。この保護者の人達の協力あってですね。約5年前になかった新しい支えですね。これからもよろしくお願いします。ついでに書きますが・・宮姉さん、テルキママ、ボーイ隊 or カブ隊の指導者やらない？団委員でも良いよ。読んだら返信頂戴ねwてか、実績あるんだからさ出来るでしょ。お待ちしてますw

これからなんですが、このまま突っ走ろうかと思えます。どこまでやれるかわかんないですが、このまま「初志貫徹」で行くか。と。「月の輪」も「ローパー」も、今までと同じで良いと思う。そして保護者様の御協力を頂き、次世代に後継出来る人を願って引き継いでほしいです。新規はこれからも頑張りますので、「育成」と「引き継ぎ」、これを団委員長中心に、全員でやる事をお願いしたいです。その為に「育成」の部分を知るために実修所に行きます。実修所の目的が違うのも理解しています。「名実ともに…」の「名」の部分と踏んでいます。「実」は団委員研修会に参加する。結局、どんな流れが理想かと考えると隊指導者から団委員になって行く現場で何が起きているか理解できる団委員になれる。逆もありで団委員から隊指導者も有と思います。そうやってどっちが団の仕事なのか、隊の仕事なのかを明快にして、役割分担と育成が重要なカギになると踏んでいます。その為にどの部分をやろうかと思う時に自分は新規のお願いと、最初の2年の育成。この部分に触れられる場所に居続けます。だから僕は・・・です。



ボーイスカウトの新制服について

団委員（指導者養成担当）川原 聡

【今回の制服改定の背景】

本年春から、新しいボーイスカウトの制服がお目見えしました。今回の制服改定に当たり、ボーイスカウト日本連盟のHP等によると次のように説明されています。

『ボーイスカウト日本連盟が平成22年に行ったアンケートでは、70%の人が制服の再検討や、一部検討等を希望しており、現在の制服に関して問題点があるという割合は全体の60%以上でした。また、日々さまざまな意見をいただく中で「街でボーイスカウトの姿が消えた」という意見を加盟員以外の方から寄せられることも多くあります。これは、加盟員数の減少も影響していますが、象徴性の低下や、デザイン性の問題で、集会に行き来する際の制服の非着用も原因になっています。（中略）こういったことを受け、スカウト運動を活性化し、更なる発展を目指し、活動しやすく、ボーイスカウトというブランドを再度社会へ定着させ、新たな加盟員の増加を期してユニフォームの改定を行うことになったのです…。』

その後、関係各方面の意見とそれを受けたデザイン案の発表⇒昨年から無作為に抽出された全国各隊での着用モニターの結果から一部デザインや機能の修正を加え、今年の春に新制服を発表。およそ25年ぶりに各部門ともに制服が一新されることになりました。



新制服の価格やサイズ、記章着用細則等詳細については、ボーイスカウト日本連盟が下記HPを開設していますので、各自ご参照いただければと思います。

【新制服サイズと価格表】

<http://www.scout.or.jp/uniform/size.html>

【制服および記章類の着用位置～平成27年4月1日施行～】

<http://www.scout.or.jp/uniform/index.html#patch>

【日野2団としての対応】

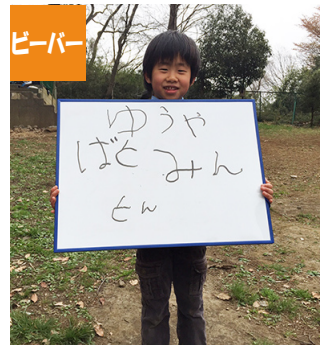
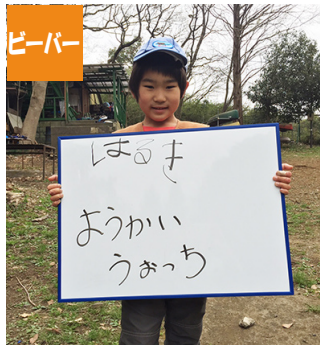
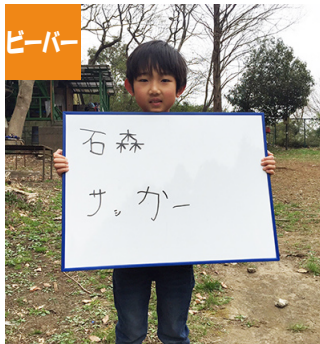
1. ビーバー部門について
新制服までの移行猶予期間が3年ありますので、現在所属しているスカウトは、現在の制服のままで構いません。
※現小学2年生は、来年春カブへ上進する際にカブスカウトの新制服をご準備いただくことになります。
2. カブ部門について
今年入隊したうさぎスカウトからしかスカウトは、新制服までの移行猶予期間が3年ありますので、くまスカウトになるまで現在の制服のままで構いません。
※くまスカウト（小学5年生）は、来年春ボーイ隊へ上進する際にボーイスカウト新制服をご準備下さい。
3. ボーイ部門について
現在中学1年生～3年生までは、新制服までの移行猶予期間が3年ありますので、現在の制服のままで構いません。ベンチャー隊への上進時に、新制服をご準備いただくことになります。
4. ベンチャー部門以上
本年9月以降に、ボーイ部門以上の新制服が発売となりますので、平成30年8月までの間に、新制服をご準備下さい。

【各種新制服の発売日に関してのご案内】

1. ビーバー部門、カブ部門
ビーバー部門、カブ部門の制服は、本年3月末より発売開始されております。
2. ボーイスカウト部門以上
本年7月28日～8月8日まで、山口県で開催される第23回世界ジャンボリー終了後よりの販売（現時点では9月予定）となります。

現在の制服は平成30年8月31日まで着用ができます

特集 新入団スカウト紹介

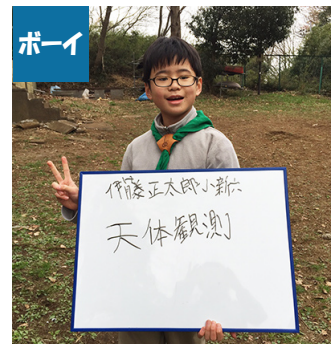
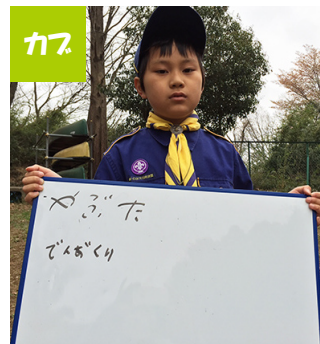
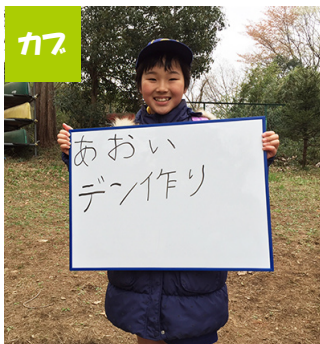
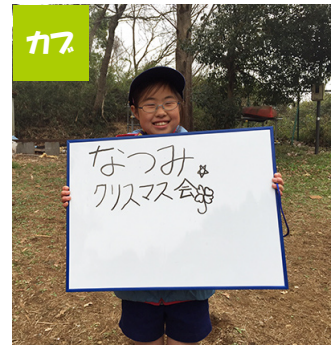
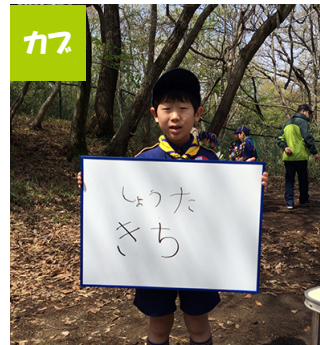


質問

ビーバー 「好きなこと、好きな遊び」

カブ 「好きな活動」

ボーイ 「やってみたい活動」



※2014年9月以降に入隊したスカウトを対象に紹介させていただいております。